



東南おきたま 雪若丸だより

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動 置賜地域本部 置賜農業技術普及課

有効茎数を確保⇒速やかに中干し・作溝！
茎数が不足⇒浅水管理や水交換を！

1 「雪若丸」の生育状況（6月20日現在）

この10日間の好天で、葉齢の展開が早まり、茎数は平年より多く推移しています。有効茎数を確保したほ場から速やかに中干し・作溝を行いましょう。一方、現時点で茎数が不足している圃場では、補完追肥を行い（下の2（2）参照）、生育量を確保しましょう。

「雪若丸」調査ほ場の生育状況

	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)	備考
高畠町	30.9	725	9.4	45.9	5/18 移植
米沢市	33.1	456	10.0	47.2	5/19 移植
川西町	23.7	426	8.4	39.3	5/22 移植
指 標	32.0	460	8.1	43.0	

2 今後の技術対策

(1) 順調に生育量を確保している場合

- 有効茎数（560本/m²）の8割（448本/m²）を確保したほ場から速やかに作溝・中干しを行い、無効分けつの発生を抑制するとともに、直下根の発生を促します。
- 「雪若丸」は幼穂形成期まで葉色を40未満に低下させないように管理することが大切です。水管理や中干しで適正な茎数、葉色となるように生育管理を行いましょう。

茎数と葉色の目安（指標値）

	6月10日	6月20日	6月30日
m ² 当たり茎数（本/m ² ）	240	460	590
1株当たり茎数（本/株、70株/坪）	12	22	30
葉色（SPAD）	37	43	43

(2) 生育（茎数）不足の場合

- 現時点で生育量が不足している場合（茎数300本/m²以下、葉色40以下）は、減収となる可能性が高くなるため、窒素成分量1kg/10a程度を補完施用し生育量を確保します。

※補完施用した場合は、穂肥時の追肥量を減肥します。

農作業事故と熱中症に要注意！ こまめな休憩と水分・塩分補給。